

# 第4次地震被害想定

静岡県では、東日本大震災の教訓を生かし、今後の防災対策の基礎資料として活用するため、12年ぶりに被害想定を見直し、2つのレベルを想定した「第4次地震被害想定」を策定しました。

磐田市の被害		第3次地震被害想定 (平成13年発表)	第4次地震被害想定 (平成25年発表)		
			レベル1	レベル2	
			発生頻度が比較的高く（駿河・南海トラフでは約100～150年に1回）、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波（東海・東南海・南海 三連動地震）	発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波（南海トラフ巨大地震）	
地震動	震度7の地域	8.5km <sup>2</sup>	参照 磐田市震度分布マップ、磐田市液状化危険度マップ	45.4km <sup>2</sup>	137.5km <sup>2</sup>
	震度6強の地域	54.4km <sup>2</sup>		106.7km <sup>2</sup>	25.1km <sup>2</sup>
津波	浸水面積	1.5km <sup>2</sup>		1.3km <sup>2</sup>	16.0km <sup>2</sup>
	浸水深2m以上の面積	0.3km <sup>2</sup>	参照 磐田市津波避難タワー ・津波避難ビル ・津波高マップ	0.4km <sup>2</sup>	4.8km <sup>2</sup>
	最大津波高	5.1m		6m	12m
	最大津波到達時間	—		15分	19分
建物被害	全壊	約6,000棟		約18,000棟	約27,000棟
	半壊	約13,000棟		約13,000棟	約16,000棟
人的被害	死者	約240人		約500人	約1,900人
	負傷者	約4,200人		約4,700人	約6,500人

※被害が最大となるケースを記載しています。

Point

**みんなで被害を減らしましょう！**

市民の皆さん一人一人が、自分でもできることを一つでも多く実践することが、被害を0に近づけることにつながります。